

# 電子投票改め「ワンタッチ投票」

超党派の国会議員がつくる「電子式投票システム研究会」（中馬弘毅会長）は19日の総会で、タッチパネル式の投票機器を使う「電子投票」の呼称を「ワンタッチ投票」とし、制度の普及と国政選への導入などを推進する方針を決めた。

命名は杉村議員

を集めている自民党の杉村太蔵氏（26）の提案だ。総会で、「名称を『ワンタッチ投票』とすれば、もっと身近になるのではないか」と発言したところ、中馬会長や他の議員が同調した。当の杉村氏は「えっ、本当ですか？」とキョトンとしていた。

呼称の変更は、その言動が何かと注目を集めている

## 杉村議員「電子式投票じゃ分かりにくい」

「料亭に行ってみよう」などの発言で物議をかもした自民党の杉村太蔵衆院議員が十九日、本業で存在感を發揮した。杉村氏は、国会内で開かれた超党派の議員連盟「電子式投票システム研究会」（中馬弘毅会長）の総会に出席し、「『電子式』という名前では若者はとっつきにくい」と議連の改名を提案。即決で採用され、「ワンタッチ投票研究会」と名称を変えることになった。

会合終了後は「本当に名前変わったやうんすか」と、いつもの杉村節が炸裂。議連には「杉村人気」にあまり、電子投票の普及拡大を図りたいとの意思もありそう、電子投票の模擬体験会に積極参加した姿勢を買って「ベテラン議員らが花を持たせてあげた」（出席議員）のが真相のようだ。

### 議連改名で「ひと仕事」

### ■国政選挙に電子投票

「導入へ法整備を」  
超党派の国会議員でつくる電子式投票システム研究会（会長・中馬弘毅衆院議員）は19日、電子投票を先行導入した市町村が、国政選挙でも電子投票を実施できるようにする新たな法整備を目指すことを確認した。在外投票制限の違憲判決を受けた公職選挙法の改正とあわせて、次期通常国会で法案提出を目指すという。

総務省は11月上旬にも、電子投票システムの技術的な問題を検証する有識者の調査検討委員会を設置する予定だ。